

6年生・あおぞら学年 飛島修学旅行 (令和2年8月4日～5日) ～思い出の写真日記⑤～

8月5日(水) 2日目後半の巻②





ただいま帰りました!





[y4e-2015:87] 2日目元気に活動が始まりました(第三報) ☆

受信トレイ

Y [redacted] 9:06 To: 自分

=山四小・2015年入学=

あおぞら学年保護者 様

おはようございます。飛鳥2日目。昨夜は、星空、夜光虫ともに観察できました。また、満月も上りました！朝の集いを終え、朝食をとり午前中の畳めぐり活動に入りました。早朝、朝日が射込みました。今は、薄曇りでのしやすい天候です。

<校長 日高伸哉>

=====

このメールへの返信はご遠慮ください。本メールの送信アドレスは送信専用となっておりますので、このメールへの返信によるご質問、お問合せにはお答えしかねます。サポートが必要な場合は、連絡.mobi Call Center [redacted] までご連絡下さい。



[y4e-2015:88] 酒田を後に帰路につきました(第四報) ☆

受信トレイ

Y [redacted] 15:59 To: 自分

=山四小・2015年入学=

あおぞら学年保護者 様

今、酒田市の山居倉庫を出発しました。約20分前後の遅れです。到着も18時00分前後になると思われます。よろしく願いいたします。

12時30分の定時に飛鳥を後にし、酒田港に到着。サプライズがございまして、酒田市の丸山市長さんが出迎えて下さいました。また、酒田市飛鳥への修学旅行に対し感謝のご挨拶と児童全員にキーホルダー等のプレゼントがありました。朝日、山新、荘内日報、毎日新聞の取材を受けたところです。ご理解の程よろしくお願いたします。午後も順調に活躍出来ました。全員が元気です。

<校長 日高伸哉>

=====

このメールへの返信はご遠慮ください。本メールの送信アドレスは送信専用となっておりますので、このメールへの返信によるご質問、お問合せにはお答えしかねます。サポートが必要な場合は、連絡.mobi Call Center [redacted] までご連絡下さい。



20200805_...5243_1.jpg

[y4e-2015:89] 順調に走行中(第五報) ☆

受信トレイ

Y [redacted] 17:28 To: 自分

=山四小・2015年入学=

あおぞら学年保護者 様

順調です。予定時刻より10分位の遅れかと思えます。全員無事に帰宅出来ます。ご理解、ご協力ありがとうございます。もうしばらくお待ちください。

<校長 日高伸哉>

=====

このメールへの返信はご遠慮ください。本メールの送信アドレスは送信専用となっておりますので、このメールへの返信によるご質問、お問合せにはお答えしかねます。サポートが必要な場合は、連絡.mobi Call Center [redacted] までご連絡下さい。

天候に恵まれ、自然に恵まれ、あおぞら学年・6年生全員が元気に活動できました。たくさんの方々に支えられ、たくさんのお出逢い、たくさんのお思い出が生まれました。決して一人では成し得なかったことです。修学旅行は、見聞を広めると同時に、自己を見つめる貴重な体験学習です。もう二度とないこのメンバーでの修学旅行。この高鳴る感動を次のステージへ。

修学旅行 飛島に脚光

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、酒田市の沖合にある本県唯一の有人離島・飛島が修学旅行先などとして、需要が高まっている。感染リスクの高い首都圏などの県外を避け、飛島に行き先を変更するケースが多く、市

はコロナ禍で生じた新たな「安心できる観光需要」として、今後、積極的に受け入れる方針。5日は山形市の山形四小（日高伸哉校長）の児童が1泊2日の日程を終え、酒田港に戻り、丸山至市長らが出迎えた。

感染リスク低く、島の体験貴重



コロナ禍で修学旅行や自然体験の需要が高まっている
本県唯一の有人離島・飛島から戻った児童

酒田市・酒田港

酒田市、積極誘致へPR

市によると、山形四小の他、既に来月1、2日に米沢二中の約180人、同3日には河北中の約90人が訪れる予定。地元・酒田市内の小中学校も日帰りで訪れる予定があり、修学旅行や自然体験などで選ぶケースが増えているという。飛島は酒田市の沖合39キロにある。行き先を変更した学校の教頭らは「感染リスクが少なく、県内でも足を運ぶ機会が少ない場所だから」「自然も豊かで、島ならではの体験ができる」などと理由を述べた。



人々の暮らしについて学んだ。酒田港では5日、定期船「とびしま」で戻った児童に丸山市長が記念品を手渡し、大森袖月さん(11)は「緑や花が多く、山形とは違う暮らしも知ることができた」と話した。

飛島の人口は6月末現在117世帯の184人。島民の平均年齢は70・62歳、高齢化率は77・17%で、人口減少や地域振興が大きな課題となっている。医療体制が十分ではなく、一時は来島自粛を呼び掛けていたが、海水浴シーズンを迎え、感染防止対策を講じた上で、振興策の一つとして観光力を入れている。市は感染予防に配慮している教育旅行であれば、安心して受け入れられるとして、積極的に誘致。さらに「鳥海山・飛島ジオパーク」のエリアに入っている秋田県の学校にも教育旅行先としてPRし、島内の宿泊施設の整備などにも力を入れる方針だ。

(秋葉宏介)